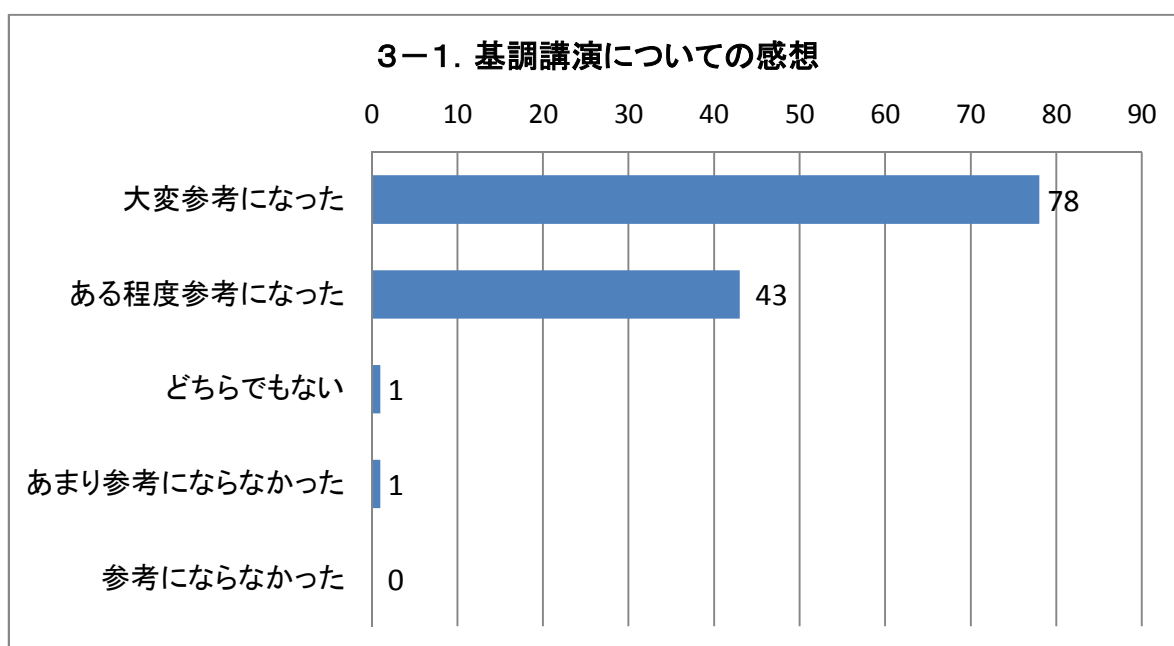
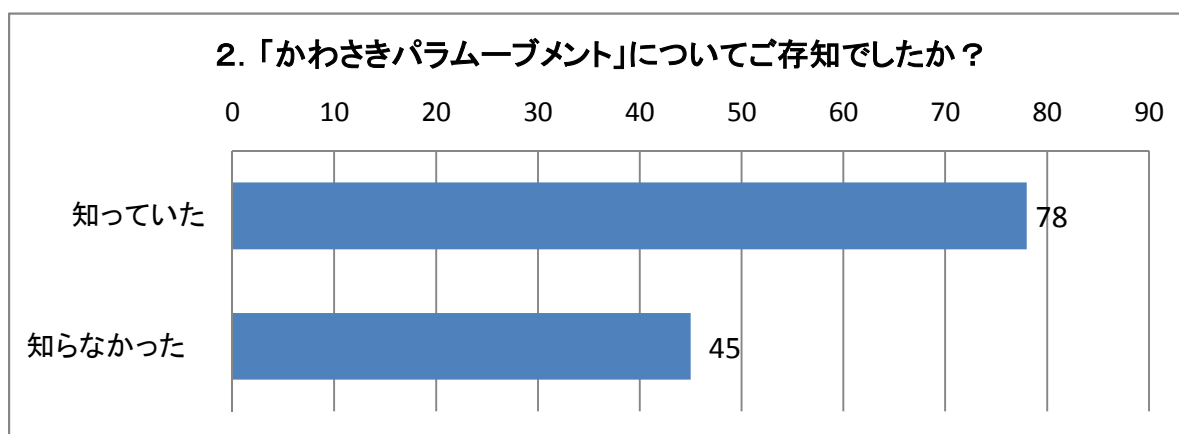
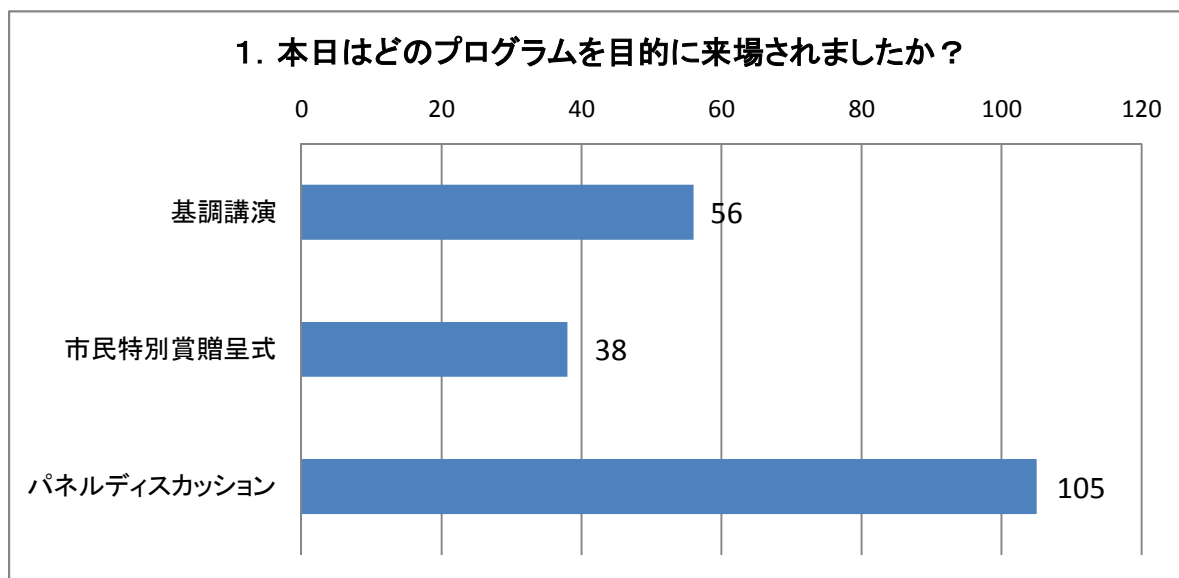
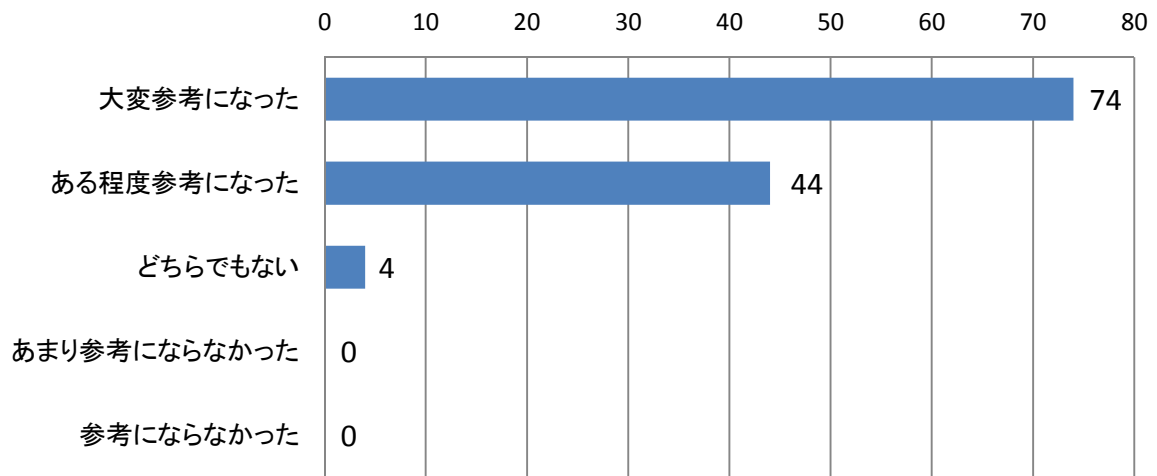


# 平成28年度 かわさきパラムーブメントシンポジウム アンケート結果 (平成28年12月1日実施)

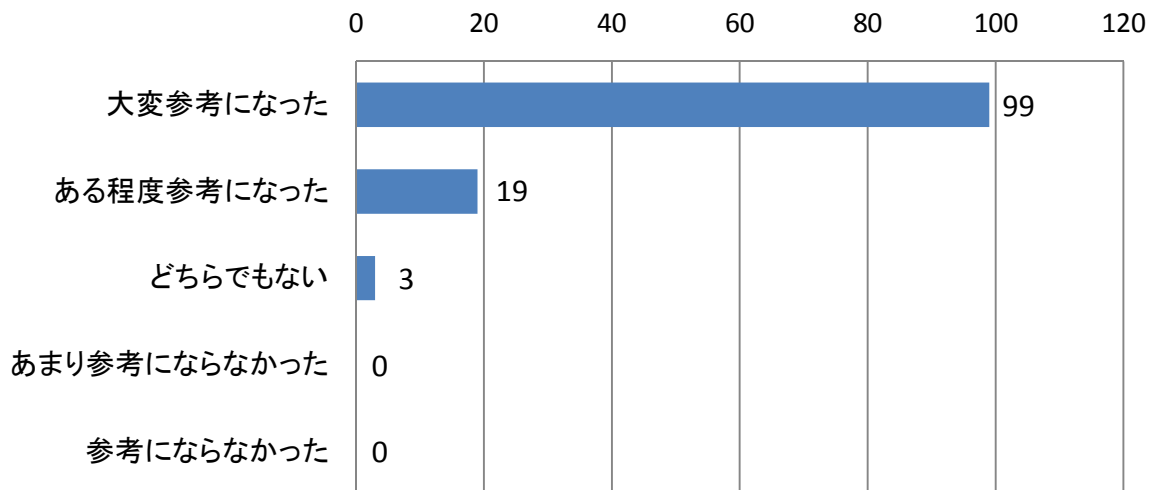
アンケート回収数 123通



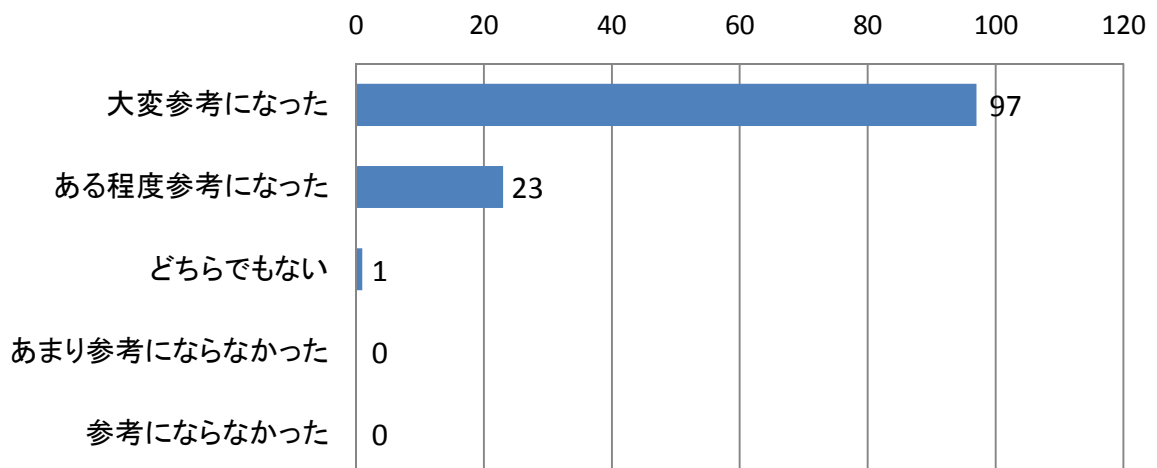
### 3-2. パネルディスカッション「かわさきパラムーブメント」についての感想



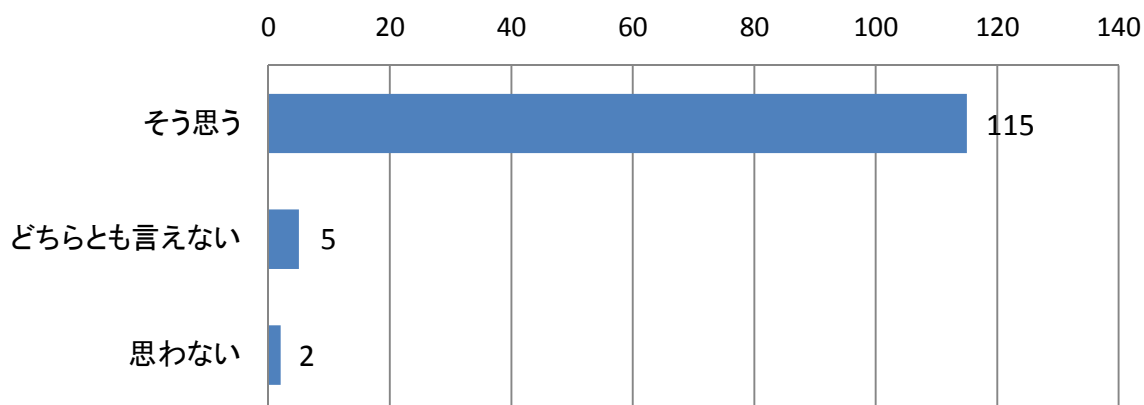
### 3-3. パネルディスカッション パラリンピアンへの報告についての感想



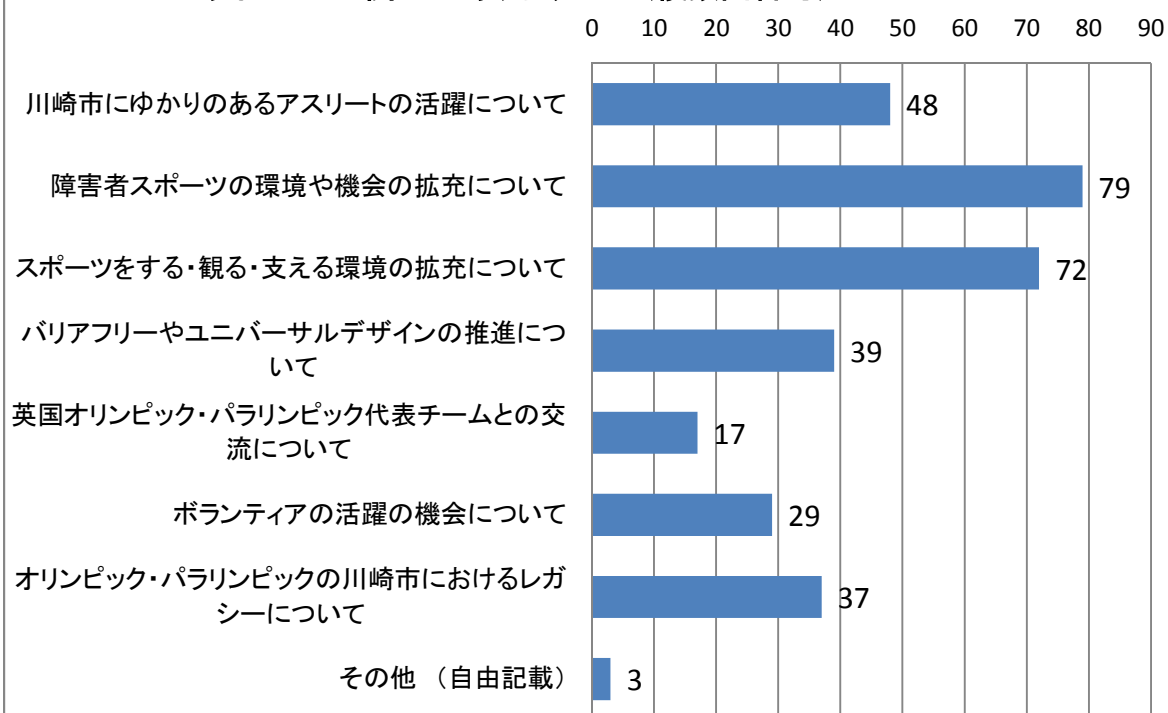
### 3-4. パネルディスカッション 意見交換についての感想



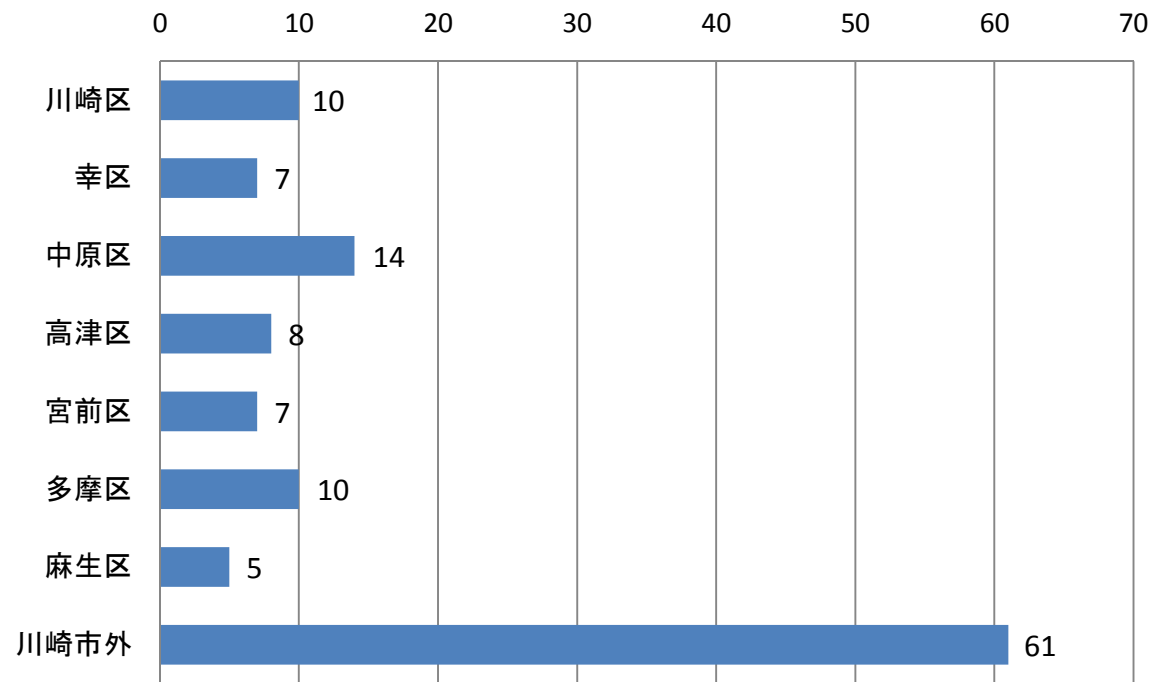
4. このシンポジウムに参加して「かわさきパラムーブメント」に対する理解や関心が深まったと思いますか？



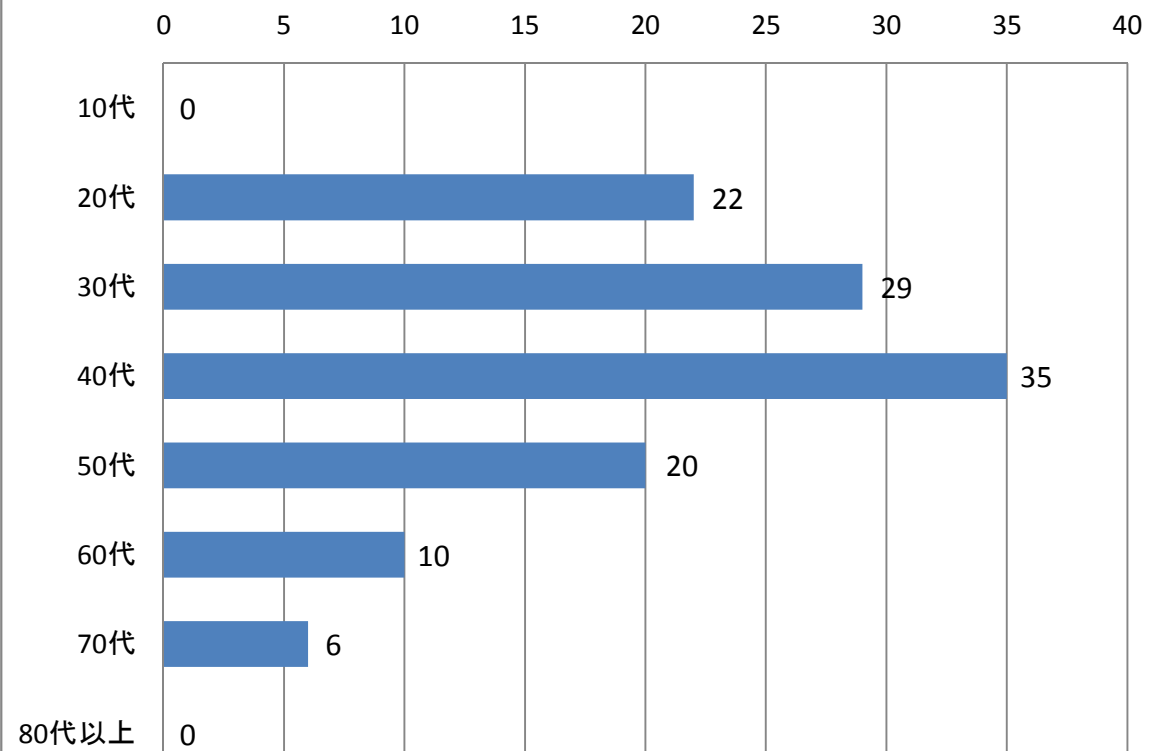
5. 2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、どのようなことにご関心がありますか？（複数回答可）



### 6. あなたのお住まいの地域はどちらですか？



### 7. あなたの年齢は次のどれにあてはまりますか。



## 8. ご意見などがございましたら、ご自由にお願ひします。(自由記入)

### 【全体の感想】

- ・できることからやっていきたい。まずは行動すること。
- ・生の意見が聞けて大変勉強になった。ありがとうございました。
- ・初めて聞くことが多く、意識をするためには先ず多くのことを知ることから始めなければならないと思いました。
- ・席のレイアウトが悪い(横長)見にくい(方向)中森さんのスライドと内容が違う(カラーで配布してほしい)
- ・貴重な気づきのチャンスをいただきました。ありがとうございました。(チア協会石原 麻生高校)
- ・とても良いシンポジウムでした。ありがとうございました。
- ・本日はありがとうございました。今後の活動においてモチベーションを高めることができました。
- ・意識を変えないと関わりをもてないですね。
- ・人の意識を変えることが一番重要ですが、一番難しいように感じています。小さなところから少しずつ意識を変えていき、4年後には素晴らしい共生社会が実現できれば良いなと思いました。
- ・インクルージョン社会を作るには1人1人の意識の変化や環境の提供、区別・差別を取り払うことが大事だと改めて感じた。日常生活をもっと意識的に過ごしていこうと思った。
- ・心のバリアフリー、意識を変える、もっとよく知る、今までのものからできることから、とても大事だと思いました。自分にもできることから始めたいと思いました。
- ・とても有意義な場でした。意識を変えて働きたいと思ひます。ありがとうございました。
- ・意識を変えること、身近な環境を変えることから始めたいと思ひます。
- ・障害のある方の日常の不便なところを知ることができ、自分でもお手伝いできることがあれば、と思ひました。
- ・冒頭での感動的なVTRはとても関心を持ってシンポジウムに入る良い演出でした。「誰でもトイレ」の表示を「車椅子用トイレ」に変更してほしいとの話ですが、障害のある方のセパレートするような表記に自分自身も及び腰になっている気がします。他方で色々な人が共存できる風土・意識も大事です。そのあたりの塩梅が改めて難しいと感じました。
- ・パラリンピックの選手の話をして直接聞いてパラリンピックについて理解が深まりました。
- ・機会をありがとうございました。自分たちに出来ることをやっていこうと思ひます。
- ・障害について、あらためて見ていく気持ちを持ちました。
- ・もう少し時間をとって話を聞きたいと思ひました。パラリンピックの知名度があがることで社会が醸成させることに繋がると思ひました。
- ・バリアフリーについて改めて考える良い機会となった。
- ・気づきを頂きました。ありがとうございました。
- ・パラリンピアン生の声を日常生活から競技まで聞くことができ良かった。思ひもよらないところで困らされていたり、色々と考えさせられると同時に目から鱗でした。

### 【かわさきパラムーブメントについて】

- ・会社のイベントなどでぜひ考え方を取り入れていきたい。
- ・以前、市民へのパラムーブメントの理解促進のために「こすぎの大学」でワークショップを開催させて頂きましたが、川崎市各地での開催を希望します。ぜひプログラム設計や当日の進行など協力させてください。(こすぎの大学 岡本克彦)
- ・川崎市で仕事する上で非常に前向きにパラムーブメントに対する熱意が感じられ、有意義であった。建物や施設管理をする上で今日の視点を大切にしていきたい。
- ・成田さんのお話にあった障害者と健常者が一緒にやることで互いにためになるような考え方=価値観を広めたい。実はそれが相互に豊かになる生き方だから。そのためにパラムーブメントはより良い生き方を求めてのものとの視点を、あらゆる機会を通じて広めましょう。
- ・市長自らの宣言が力強いと感じた。
- ・パラムーブメントをはじめ、川崎市の福祉はある程度整っていると思う。さらに伸ばすには行政の障害福祉に対する専門性の高い職員の養成が求められている。そのことをしっかり検討してほしい。障害者の職員もいると思うので、企画・立案にあたりその職員の意見を聞くことをやってほしい。障害福祉に優れた自治体は既に取組んでいる。そのため、市民に提示するときにはレベルの高い案となっている。パラムーブメントを推進を進めるにあたってはこうした体制を作るべき。内部がきちんとしてようやく外部(市民)もよくなる。

## 【障害者のスポーツ、施設や用具について】

- ・成田さんや山口さんの体験談が非常に興味深かったです。障害者スポーツについて底辺拡大が課題であると改めて感じました。
- ・障害をもった人が気軽にスポーツをできる場、活動を通じて社会参加できる環境を作ってもらいたいです。
- ・障害者専用のスポーツ施設を早く作ってください。
- ・1日も早く川崎市に障害者スポーツ施設を作ってください。
- ・成田さんの話で「意識を変える」という言葉に感動をしました。川崎市にも障害者専用の施設を希望します。
- ・障害者が健康になるためにも専用施設を希望します。水泳だと泳げるようになるまで一般の方たちと泳ぐのは難しい。泳げれば受け入れる。この違いを理解してください。
- ・障害のある人達にスポーツの楽しさを伝えるためにも市として用具のレンタル補助などの施策を検討してほしい。
- ・早急に障害者スポーツの施設を作ってほしい。
- ・障害者が参加できるスポーツの場を少しでも作っていききたい。
- ・中森事務局長の講演時間が短かった。障害者の方がスポーツをするきっかけが少ないことに改めて気づいた。何かできることを探したい。